

番号：130824

国名：ザンビア

担当：人間開発部保健第二課

案件名：結核及びトリパノソーマ症の診断法と治療薬開発プロジェクト終了時評価調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2013年9月下旬から2013年11月上旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.63M/M、合計 1.13M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	19日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：正1部、写4部
- (2) 見積書提出部数：正1部、写1部
- (3) 提出期限：9月4日(12時まで)
- (4) 提出場所：調達部受付（JICA本部1F）

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針：
 - 1) 業務方針の的確性 3点
 - 2) 業務方法の整合性、現実性等 6点
 - 3) 当該業務実施上のバックアップ体制 1点
 - (2) 業務従事者の経験能力等：
 - 1) 類似業務^{注1)}の経験 45点
 - 2) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域^{注2)}での業務経験 9点
 - 3) 語学力^{注3)} 18点
 - 4) その他学位、資格等 18点
- (計100点)

注1) 類似業務：各種評価調査

注2) 対象国／類似地域：ザンビア／全途上国

注3) 語学の種類：英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。
- (2) 必要予防接種：黄熱病（南アフリカ経由の場合）

6. 業務の背景

世界的に新興・再興感染症が大きな問題となっている中、ザンビアを含むアフリカ諸国もこの問題に直面しており、HIV感染者の増加に伴う重複感染による結核の再流行や、治療困難な多剤耐性結核及び超多剤耐性結核の蔓延が危惧されている。また、アフリカでは人と動物の距離が近接しており、家畜（特に牛）と人との間の結核感染の流行も既に報告されており、その伝播の実態を明らかにすることも、人獣共通感染症である結核の対策には重要である。

また、マラリアはザンビアにおける最大の疾患であるが、マラリア類似疾患（ボレリア症、ブルセラ症、レプトスピラ症等の細菌感染症、トリパノソーマ症等の原虫感染症）がマラリアと誤診され、適切な治療を受けられないまま重症化し死に至ることも問題となっており、地域の保健センターレベルにて実施可能なマラリア及び類似疾患の診断法開発が望まれている。

このような状況下、ザンビア政府からJICAに対し「アフリカ新興・再興感染症対策戦略開発プロジェクト（要請時名称）」が要請され、また研究協力機関である北海道大学から科学技術振興機構（JST）に対し同プロジェクトが申請され、JICAとJSTにて採択された。現在、本プロジェクトは地球規模課題対応国際科学技術協力（SATREPS）の枠組みのもと、2009年11月から2013年11月までの4年間の計画で実施中である。

本プロジェクトは、近年わが国を中心に開発されつつある高感度且つ簡易な診断システムを、結核及びマラリア類似疾患の一つであるトリパノソーマ症へ応用することを目指すものであり、併せてトリパノソーマ症治療薬候補物質の探索を行うことを目的としている。また、これらの共同研究を通じて、ザンビア大学付属教育病院（University of Teaching Hospital: UTH）及びザンビア大学（University of Zambia: UNZA）獣医学部の研究開発能力向上を目指している。

今回実施する終了時評価は、2013年11月の本プロジェクトの終了の前に、ザンビア側カウンターパート（C/P）機関であるザンビア保健省、UTH及びUNZAと合同でプロジェクト活動の実績や成果を確認・分析すると共に、今後の類似事業の実施に当たっての教訓を導き、合同評価報告書（英文）に取りまとめ、C/P機関と合意することを目的とする。

なお、SATREPS 案件の終了時評価調査は、原則 JICA と JST が連携して実施し、JICA はプロジェクト運営管理の一環として相手国における人材育成、協力強化及び開発課題に対する貢献の観点から、JST は研究成果及び科学技術水準の向上の観点から評価を行う。

7. 業務の内容

本業務従事者は、「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」に沿って、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価 5 項目を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

（1）国内準備（2013 年 9 月下旬～10 月上旬）

- 1) 既存の文献、報告書等（事業進捗報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理、分析する。
- 2) 既存の PDM に基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価 5 項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- 3) 評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P 機関等）に対する質問票（英文）を作成する。
- 4) 対処方針会議等に参加する。

（2）現地派遣（2013 年 10 月上旬～10 月下旬）

- 1) JICA ザンビア事務所等との打合せに参加する。
- 2) プロジェクト関係者に対して、「新 JICA 事業評価ガイドライン第 1 版」に基づいた評価手法について説明を行う。
- 3) ザンビア側 C/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- 4) 収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- 5) 国内準備並びに上記 3) 及び 4) で得られた結果をもとに、他の調査団員及びザンビア側 C/P 等とともに評価 5 項目の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文）の取りまとめを行う。

- 6) 評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- 7) 協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
- 8) 現地調査結果の JICA ザンビア事務所等への報告に参加する。

(3) 帰国後整理期間（2013 年 10 月下旬～11 月上旬）

- 1) 評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を作成する。
- 2) 帰国報告会に出席する。
- 3) 終了時評価調査報告書（和文）について、担当分野のドラフトを作成する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）～（3）のすべてとする。

- (1) 評価報告書（英文）
- (2) 担当分野に係る終了時評価調査報告書（案）（和文）
- (3) 評価調査結果要約表（案）（和文・英文）

上記（1）～（3）については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

- 1) 現地業務日程

本業務従事者の現地業務期間は2013年10月6日から2013年10月24日を予定しています。なお、機構職員は右業務開始日の1週間後から現地業務を開始する予定です。

- 2) 現地での業務体制

- ① 調査団構成

- ・総括（JICA）
- ・評価企画（JICA）
- ・評価分析（コンサルタント）

また、JSTから2名が同行予定です。

- ② プロジェクト長期専門家構成

- ・結核迅速診断法開発専門家
- ・業務調整

- 3) 便宜供与内容

当機構ザンビア事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ① 空港送迎

あり

- ② 宿舍手配

あり

- ③ 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）

④ 現地日程のアレンジ

現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及び長期専門家の同行

(2) 参考資料

- 1) 本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。
 - ・ザンビア共和国 結核及びトリパノソーマ症の診断法と治療薬開発プロジェクト詳細計画策定調査・実施協議調査報告書
 - ・地球規模課題対応国際科学技術協力 ザンビア共和国 結核及びトリパノソーマ症の診断法と治療薬開発プロジェクト中間レビュー報告書
- 2) また、本業務に関する以下の資料がJSTのウェブサイト (http://www.jst.go.jp/global/kadai/h2012_zambia.html) で公開されています。
 - ・平成21～24年度の実施報告書

(3) その他

- 1) 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

以上